



Leaf

平成23年5月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 沼里 進

盛岡赤十字病院医療連携だより No.23

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

東日本大震災における当院の対応

院長 沼里 進



このたびの大災害で被災されました皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。
今なお、行方不明の方々、避難所や孤立した地域での生活を余儀なくされておられる方も多く、大変心が痛みます。
3月11日、巨大地震そして大津波、さらに、福島では原発事故まで発生しました。
当院では、M9の地震後、直ちに災害対策本部を設置し、初期対応として、平成21年度末に配備されたdERUの出動準備を整え、日赤支部の派遣命令を待ちました。
その後、岩手県災害対策本部の指示に基づき、日赤支部を介して、矢巾町の県消防学校にdERUを展開するよう命令が出され、他の日赤チームとともに、2救護班を配置(11日～14日)しました。
また、発災当日は、沿岸部からのヘリ搬送による急性期患者を受け入れるため、全医師に20時までの院内待機を命じ、それ以降は、通常の救急体制の3～5倍の人員で夜勤にあたるよう体制を組む一方、災害対応最高レベルであるレベルⅢ(一般外来診療全面中止、検査・手術の中止、トリアージセンター設置等)へシフトし、被災者入院100名の受け入れを宣言しました。
しかし、1ヶ月間で、入院109人(うち、透析患者21人、出産12人)、外来は539人と予測を大きく下回る結果となりました。大地震による負傷等ではなく、大津波による被災がはるかに甚大であったことを裏付けるものとなり、改めて愕然としました。
通信網が途絶え、物流の回復が進まない中で、次第にその事態の深刻さが伝わり、失われた人命が計り知れない数に上ることを思い知らされました。
こうした状況下、岩手県災害基幹拠点病院として、果たすべき役割はこれで良いものかどうか悩みつつ、当院の災害対策本部は、被災地への救護班派遣と急性期患者の受け入れという両面の使命を果たす中、医療活動以外での「よろず相談所」的な対応もこなしながら、全国日赤救護班(11施設、延べ138名)の院内宿泊・派遣先調整・現地情報の提供等に迫られ、次第に日赤救護班コントロールセンターとしての役割が増し、日赤以外のDMATチーム60人の仮眠者の受け入れにも対応しました。
通常診療に復帰するまで、毎朝夕、全職種ミーティングを行い、情報の共有化を図りながら、血液センター職員の多大な応援とボランティアの方々のお力添えをいただき、今日まで至っております。今後も陸前高田市、山田町の避難所への救護班(4月30日現在、55班)を派遣し、5月からは、陸前高田市にこのころのケアチームを、また、ふれあいランド(盛岡市)への避難者に対して、巡回診療を実施しており、長期にわたるサポートが必要と考えております。
つきましては、さらなる地域医療連携が重要性を増しており、引き続き、皆さまのご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

+ 診療科紹介 +

神経内科の御紹介

神経内科部長 野崎 有一



3.11の東日本大震災に、被災なされた方、また被災されたご家族をお持ちの方も多いと存じます、一日も早い復興を心より願います。当院では、当初多少の混乱がありましたが、救護活動、後方支援の傍ら診療もどうにか通常どおりに行っております。

さて当科についてご紹介いたします。常勤医2名(野崎有一、木澤英樹)です。いずれも岩手県沿岸出身です。木曜日午前の外来は、岩手医大神経内科の大平泰子先生に診療応援をお願いしております。開業医の先生方から、多数患者様をご紹介いただき、昨年度の入院患者数は423人で、ここ十年で約2倍になっております(常勤医の数はそのままです)。入院患者のうち、最も多いのが脳梗塞で225人、約半数を占めます。神経変性疾患は、主に外来にて加療いたしております。脳梗塞は、脳卒中連携パスを使用し、リハビリ病院、開業医さんとの連携をすすめております。今後は、外来患者さんにかかりつけ医の重要性を説明し、開業医の先生方に紹介していきたいと思っております。よろしく願いいたします。



耳鼻咽喉科の御紹介

耳鼻咽喉科部長 佐藤 尚徳

当院では常勤医2名(佐藤尚徳、横山哲也)で診療にあたっております。また岩手医大からの応援として水川知子先生(月)にも手伝いに来ていただいております。

外来は午前中のみ行っており患者数は30~40人ほどです。午後は殆ど手術場で手術を行っておりますが手術のないときは外来でチュービングや生検術、ABRなども行っております。

平成22年の手術件数は300件でした。主に扁桃摘出術や副鼻腔内視鏡手術、喉頭顕微鏡下微細手術、頭頸部良性腫瘍手術などを行っております

頭頸部悪性腫瘍の治療に関しては放射線科学療法で根治が期待できる症例は当院で治療を行っておりますが、手術や動注化学療法が必要な症例に関しては検査後患者様の希望に添って岩手医大やがんセンターなどへご紹介させていただきます。

急性炎症などで緊急入院が必要な患者様に関しては可能な限りお引き受けしたいとおもいますのでご相談いただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

整形外科の御紹介

第一整形外科部長 一戸 克明



当科は一戸克明、薄井知道、島谷剛美の3人体制で診療にあたっております。病床数は30床で、ほぼ手術の適応患者の入院が中心で安静入院、社会的入院の受入は不可能な状態です。2010年の手術件数は665件で前年の手術数より約80件増加しており、その内訳は外傷などの急性疾患が約45%、残りは変性疾患や脊椎手術などの慢性疾患です。特徴としては、膝、肩関節鏡下手術、内視鏡的腰椎椎間板ヘルニア摘出術の鏡視下手術が手術全体の約24%を占めています。

3人体制で年間600件以上の手術をこなすのはなかなか厳しく、また実際に手術数が増加していることにより昨年10月より毎週水曜日は外来診療を行わず手術日としました。当院、当科が急性期病院として成り立っているのは地域連携病院機関の御助力があつてのことと思ひ感謝しております。しかし、水曜日、手術中は急患対応がなかなかできず近隣の先生方にはご迷惑をおかけすると思ひます。可能な限り急患対応したいと存じますので今後ともよろしくお願ひいたします。

新任医師紹介



循環器科副部長 長沼 雄二郎 平成23年1月採用

初めまして、この度1月から循環器科に勤務しております。平成9年に岩手医大を卒業後に循環器医療センターを本拠地に県内の様々な病院に勤務して参りました。冠動脈や末梢末梢血管のカテーテルインターベンションと血管疾患診療を専門にしております。趣味はゴルフで、休日にはカテーテルをゴルフクラブへ握り替え病診連携を図ろうと思ひます

今後は全ての医療スタッフと力を合わせていきますので、ご指導・ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひいたします。



産婦人科副部長 林 理紗 平成23年4月採用

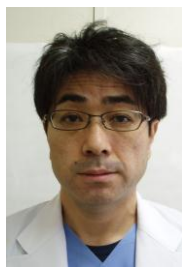
出身地:山形。
出身大学:岩手医科大学(平成17年卒業)。
県立大船渡病院にて卒後臨床研修修了。
平成21年3月、岩手医科大学大学院を卒業。
平成22年10月、産婦人科専門医取得。



内科医師 渡邊 収司 平成23年4月採用

初期研修に続き、盛岡赤十字病院で働かせていただくこととなりました。

昨年度におきた東日本大震災、赤十字病院に勤務する医師として、微力ながら地域のために精一杯勤めて行きたいと思ひます。皆様よろしくお願ひいたします。



外科副部長 中屋 勉 平成23年5月採用

今年4月から盛岡赤十字病院にお世話になる予定でしたが、震災の影響で5月1日から外科で勤務させていただいております。

平成7年岩手医科大学第一外科に入局し、大学院卒業後は、函館、花巻、能代、大船渡、宮古と沿岸を渡り歩き、久しぶりに盛岡に戻ってきました。盛岡赤十字病院の勤務は初めてで、病院のシステム等まだまだ不慣れで、また、外科医としてもまだまだ未熟者で、今後も諸先生、スタッフ

退職しました。

中嶋 悟史 (循環器科副部長)
高取 恵里子 (産婦人科医師)
鈴木 雄造 (総合内科医師)
織笠 俊輔 (消化器科医師)

平成 22年12月31日付
平成 23年 3月31日付
平成 23年 3月31日付
平成 23年 3月31日付

お世話になりました。

地域医療連携室からのお願い

・ご紹介いただく患者様の画像などの検査資料をCD-Rでご提供の際は、事前送付にご協力をお願い申し上げます。(地域医療連携室宛にお送りください。)

+ 盛岡赤十字病院

外来診療担当医師一覧

(平成23年5月1日現在)

| 午前 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総合内科 | 新患 | 佐々木 了政 | 菅原 俊郎 | 足澤 美樹 | 村井 啓子 | 足澤 美樹 |
| | 再来 | 三浦 秀悦 | 村井 啓子 | 三浦 秀悦 | 菅原 俊郎 | 菅原 俊郎 |
| 循環器科 | 新患・再来 | 市川 隆 | 高橋 保 | 齋藤 雅彦 | 長沼 雄二郎 | 齋藤 雅彦 |
| | 再来 | 齋藤 雅彦 | 長沼 雄二郎 | 市川 隆 | 高橋 保 | 市川 隆 |
| 消化器科 | 新患 | 菊池 公二 | 柴田 將 | 藤原 隆雄 | 藤原 隆雄 | 安部 圭之助 |
| | 再来 | 柴田 將 | 藤原 隆雄 | 菊池 公二 | 安部 圭之助 | 藤原 隆雄 |
| 呼吸器科 | 新患・再来 | 露木 秋穂 | — | 井上 千恵子 | 医大医師 | — |
| アレルギー科 | 新患・再来 | — | — | — | — | — |
| 神経内科 | 新患・再来 | 野崎 有一 | 木澤 英樹 | 野崎 有一 | 医大医師 | 木澤 英樹 |
| 小児科 | 新患・再来 | 大沼 良一 | 高野 長邦 | 高野 長邦 | 田中 健太郎 | 高野 長邦 |
| 外科・小児外科 | 新患・再来 | 畠山 元 | 川村 英伸 | 中屋 勉 | 畠山 元 | 杉村 好彦 |
| 整形外科 | 1診 | 一戸 克明 | 一戸 克明 | — | 一戸 克明 | 薄井 知道 |
| | 2診 | 島谷 剛美 | 薄井 知道 | — | 薄井 知道 | 島谷 剛美 |
| 脳神経外科 | 新患・再来 | 久保 直彦 | 木戸口 順 | 久保 直彦 | 木戸口 順 | 久保 直彦 |
| 皮膚科 | 新患・再来 | 菊池 里奈子 | 菊池 里奈子 | 菊池 里奈子 | 菊池 里奈子 | 菊池 里奈子 |
| 泌尿器科 | 1診 | 沼里又は、福田 | 沼里又は、福田 | 沼里又は、福田 | 沼里又は、福田 | 沼里又は、福田 |
| | 2診 | 医大医師 | — | 医大医師 | 医大医師 | — |
| 産婦人科 | 1診(婦人科) | 松田 壯正 | 菅原 英治 | 藤原 純 | 船越 真生 | 畑山 寿緒 |
| | 2診(婦人科) | 畑山 寿緒 | 松田 壯正 | 船越 真生 | 藤原 純 | 菅原 英治 |
| | 3診(産科) | 林 理紗 | 林 理紗 | 畑山 寿緒 | 菅原 英治 | 松田 壯正 |
| 眼科 | 新患・再来 | — | 濱端 久仁子 | 濱端 久仁子 | 濱端 久仁子 | 濱端 久仁子 |
| 耳鼻咽喉科 | 新患・再来 | 佐藤 尚徳 | 横山 哲也 | 佐藤 尚徳 | 横山 哲也 | 佐藤 尚徳 |
| 放射線科 | 新患・再来 | 角原 紀義 | 角原 紀義 | 阿部 知博 | 角原 紀義 | 阿部 知博 |
| 血管内治療科 | 新患・再来 | 廣瀬 敦男 | 廣瀬 敦男 | 廣瀬 敦男 | — | 廣瀬 敦男 |
| 精神科 | 再来のみ | 医大医師 | — | — | — | — |
| リハビリテーション科外来 | | 木戸口 順 | — | 木戸口 順 | — | 木戸口 順 |
| ペインクリニック外来 | | — | 岡田 一敏 | — | 岡田 一敏 | — |
| 午後 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 緩和ケア科外来 (※完全予約制) | | 旭 博史 | — | 旭 博史 | — | — |

担当医師が休診・交替になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◇ 通常のご紹介(平日8:30~17:00)は、地域医療連携室へFAXにてご連絡いただきます様、お願いいたします。

◇ 重症・緊急のご紹介(平日8:30~17:00)は、各診療科外来へ直接お電話でご連絡いただきます様、お願いいたします。

◇ 時間外のご紹介(17時以降・土曜・日曜・祝祭日)は、急患室へお電話をお入れくださいます様、お願いいたします。

いずれの場合も、患者様に「診療情報提供書」をお渡しくださいます様、お願いいたします。

地域医療連携室 専用Fax番号 : 019-637-3313

盛岡赤十字病院 代表電話番号 : 019-637-3111

◇ 地域医療連携に関するご意見・ご要望・お問い合わせは、地域医療連携室へご連絡いただきます様、お願い申し上げます。

地域医療連携室 : 019-637-3312 E-Mail: <renkei@moriokajrc.or.jp >